

藤棚新聞



第53号
2017年(平成29年)
4月20日
偶数月発行
フリーペーパー

花と緑の物語がつくるネックレス —全国都市緑化横浜フェア—

3月25日より、横浜市内各所で「全国都市緑化よこはまフェア」が開催されています。横浜緑アップ計画などをもとに、開港の歴史とともに作りあげてきた私たちの街が、花や緑に囲まれる72日間です。

よこはまフェアのテーマは「歴史と未来の横浜・花と緑の物語」。愛称の「Garden Necklace YOKOHAMA 2017」は、花や緑がネックレスのように人とまちをつないでいく意味が込められています。西区では、掃部山公園、横浜イングリッシュガーデン、グランモール公園、東横線跡地、日本丸メモリアルパークなどでネックレスを見ることができましょう。6月4日(日)まで。 掃部山公園



横浜イングリッシュガーデン
平沼橋から徒歩8分



写真は3月撮影
5月から6月にかけてバラが満開



みなとみらい
地区のグラン
モール公園



気になるお店シリーズ キッチン「KOHARU」

藤棚商店街の真ん中に、新しい惣菜屋さんが出来ています。昼から夕方までひっきりなしにお客さんが今晚のおかずを買いに集まります。お店の中をのぞくと、なんと藤棚商店会の赤荻会長ご夫妻が美味しそうな天ぷら作りにてんてこまい。

お話を伺うと、昨年始まった別のお店を奥様が引き継ぎ、リニューアルして大繁盛したそう。「あんまり忙しくて、会長は本業ができないって半分怒ってるんですよ(笑)」。本業とは化粧品店「いろや」さん。売り物は、信玄どりのモモ肉100%の唐揚げと海鮮かきあげ。作るそばから売れていきます。「安全で間違いない素材だけを厳選して作っています。ご年配お一人住まいの方にもOKな量で。」それが大人気の秘密ですね。 住所：藤棚町1-100



一番街 5月14日の「こども商店

一日だけの「こどものまち」が出現！

5月14日(日)、今年も藤棚一番街で「こども笑店街」が開催されます。

今回は「こどものまち」が出現し、子どもたちが自ら店員になることにより、より一層イベントを楽しむことができます。こども商店街内で使える通貨「フジ」は、ゲームセンター、おかしつり、こどもカフェ、こども銀行などで働くことにより、入手できます。

こどものまちの他にも、おなじみのプロレスや大じゃんけん大会、親子で写真館など、楽しいイベントが目白押しです。



ランナーたちのオアシス 「記念湯」

京急戸部駅から徒歩1分のところにある銭湯、記念湯。「駅のホームからも見えますよ」と話すのは、ご主人の髭内隆史さん。浴場のモザイクタイルには、大きな波を荒々しく描いた葛飾北斎の絵と、開港間もない横浜港の浮世絵が描かれています。そんな記念湯は、日替わりで男湯と女湯が入れ替わる珍しい銭湯でもあります。



浴場に足を踏み入ると、リラックスバス、バイブラバス、ウォーキングバス、エステジェットバスがずらり。やや熱めの薬湯や露天風呂まであり、筆者は雪国の風景を想像しながら身体を温めました。

夕方6時過ぎになると、ジョギングシューズを履いたお客さんが続々と入館。玄関には「銭湯ランナー大歓迎」の幟も。仕事を終えたランナーの一人が「ここで着替えて荷物を預け、みなとみらいを走った後に銭湯で汗を流します」と満足げに話してくれました。他にも、記念湯に通い続けて50年という女性もおり、いろいろな方に愛されている銭湯という印象を受けました。
住所：戸部本町45-4 休み：月曜日 問い合わせ：322-6244

昔と今 掃部山公園の花見



明治後期から大正ごろの掃部山公園(上)と現在の風景(右)

お花見で定番の掃部山公園。公園に設置された案内板によると、明治から大正にかけて公園内は花見を楽しむ人々で連日賑わったとあります。

現在の写真の場所は、ベンチがあるだけで屋台も茶店もなく、少し寂しい風景です。



昭和40年代後半頃までは、公園入り口付近に小さなタバコ屋さんがあったことを今でも思い出します。

ふじなちゃんのさんぽみ

「彦根散歩 ～もう一つの井伊直弼像～」

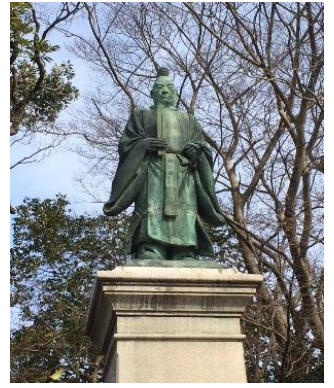
2月下旬、西区と友好交流を締結している滋賀県彦根市に行ってきました。彦根城にある井伊直弼大老像は、ひっそりとした佇まいで、掃部山公園の銅像を連想させます。彦根城の天守閣からは、琵琶湖と滋賀県最高峰の山・伊吹山がよく映えます。



にしまろちゃん(西区・左)と
ひこにゃん(彦根市・右)

また併設されている開国記念館では、横浜市や西区に関する資料も展示されていました。

西区と彦根、井伊直弼がつなぐ二つの街。みなさんも一度、彦根に行ってみてはいかがでしょうか。



未来へつなごう! とべまちポスター

—戸部小学校と戸部大通り商店街—

戸部小学校5年1組(平成28年度)の児童26名は、1年間「総合的な学習の時間」の取り組みとして、戸部大通りのまち探検を行いました。まち探検では、商店街の人通りが少なくなっていることがわかり、また商店街の店主からもお店のよさを宣伝してほしいという希望がありました。



大塚酒店のポスター

そこで、「多くの人が行き交う元気な戸部のまち」を目標に、「戸部大通り商店街のポスターを作り、よいところをPRする活動」に取り組みました。

子どもたちはお店のお手伝いをしながら店やお客さんにインタビューしました。製作では、横浜デザイン学校の宅間先生に指導を受けたそうです。こうして出来上がった児童とお店の人たちのポスター、そして6軒のお店のポスターが、それぞれの店先に掲示されて街を歩く人の目を引いています。



戸部小学校児童と商店街
の人達のポスター

『たべもの』をありがとう!

フードドライブはまだ食べられるのに、いろいろな理由で処分されてしまう食品を、『たべもの』に困っている人や団体に届ける活動です。

西区社会福祉協議会では、第5回フードドライブを3月10日～3月24日に実施しました。その結果、約30の団体や個人の方から、カレー、米やお歳暮などの多くの品物の提供がありました。提供できる食品は「未開封で賞味期限が2か月以上あるもの」かつ「常温で保存が可能なもの」です。提供：西区社会福祉協議会



子ども食堂は楽しく、無理なく

現在、全国各地で盛んに行われている「こども食堂」。そんな子ども食堂の運営に関する市民セミナー（横浜市社会福祉協議会・横浜市こども青少年局主催）が3月21日、横浜社会福祉センターで開かれました。

コメンテーターの栗林知絵子さんやパネリストは、子ども食堂を運営するにあたっての心構えとして、「長く続けるには自分が楽しむこと」、「無理なく行われること」、「子どもも大人も遊ぶ、食べる、学ぶこと」を挙げました。



藤棚地区センターで ふれあい(子ども)食堂開催

3月25日は藤棚地区センターで、ふれあい(子ども)食堂を開催。この日は大人の参加者が45名、子どもは30名と大盛況。とんかつやお花ご飯等が所狭しと並び、賑やかな食卓になりました。食事後、子どもが大人に混じってカラオケをする光景は、大変ほほえましく感じました。

藤棚さくら祭り



3月25日、藤棚商店街で「さくら祭り」が開催されました。よい天気にもぐまれて、たくさんのお出

店があって、家族でテーブルを囲んだり、吹き矢などのゲームを楽しみました。



藤棚俳壇・選者——三村風彦

シャボン玉毀れ媼の目の和む

藤棚に花少なくて蝶呼べり

藤棚の商店街は早春に

永日や心のひだに時積もる

やどかりの回転をして宿変わる

菜の花を一廻りして蝶の去る

チューリップ観光バスがひと回り

《寸評》

あたたかい春風にさそわれて、シャボン玉を飛ばす。それぞれの思いがシャボン玉に込めてあるのだ。

*

投句—当季雑詠で一人2句まで—、氏名、連絡先を記載して。次回締切は五月二十日。

巻頭句には粗品を進呈。

Eメール：fujidananp@jcom.zaq.ne.jp

FAX：045-895-0081

地元で30年！親身な指導！

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

相談
無料

寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一
税理士 寺田悟史

西区中央2-13-2
伊勢新ビル2F
☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp